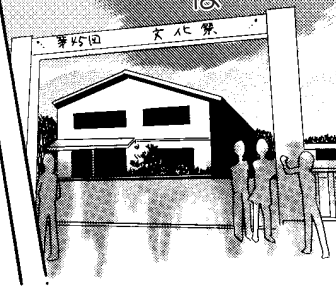


ウチの高校には
昔から伝わる
ジンクスが
ある



文化祭の後夜祭で
告白すると
想いはかなうって

だから私は
このチャンスに
かけたの



竜太先輩…
好きです…！

先輩と過ごす
最後の夏だと
思ったから——

本当に
オレでいいの？



竜太先輩は
サツカー部の
キャプテン



どんなに
苦しい試合でも

決して

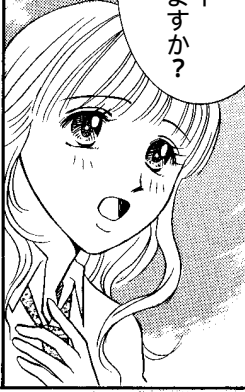
投げ出さない姿を

自然に目が

追うように

なった

あの:
私のコト
知ってますか?



もちろん
知ってるよ!

チア的美奈ちゃん!
よく沙織に
いじめられてた
よね

さぞと
運んで?



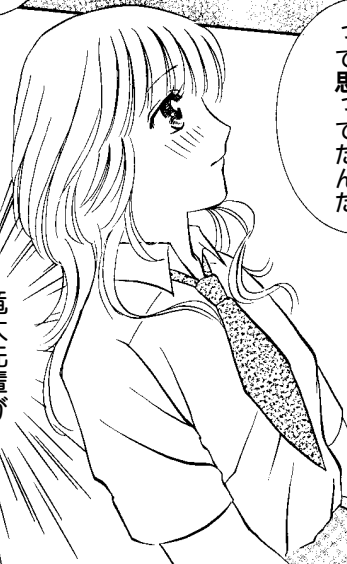
いじめられてた
わけでは...

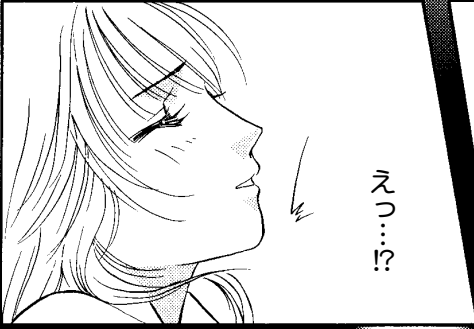
いつももくもくと
運んでたよね

小さいのに
がんばる子だな
って思ってたんだ

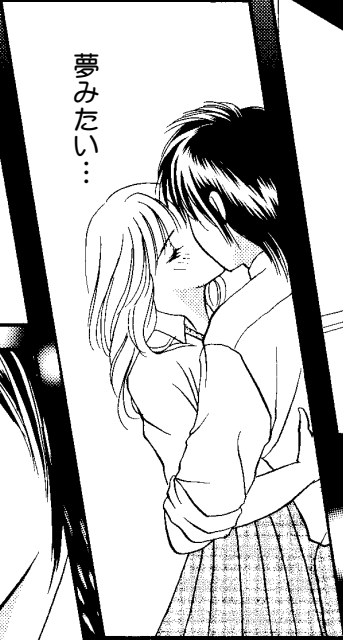


竜太先輩が
私を見てて
くれてた
なんて!

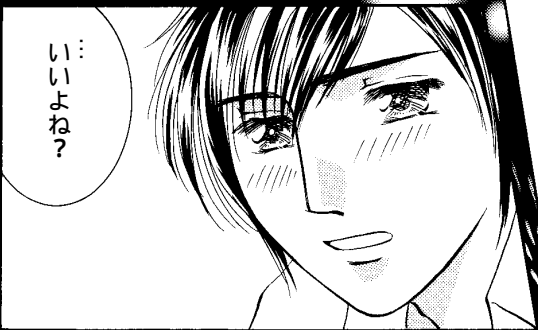




えっ…!?

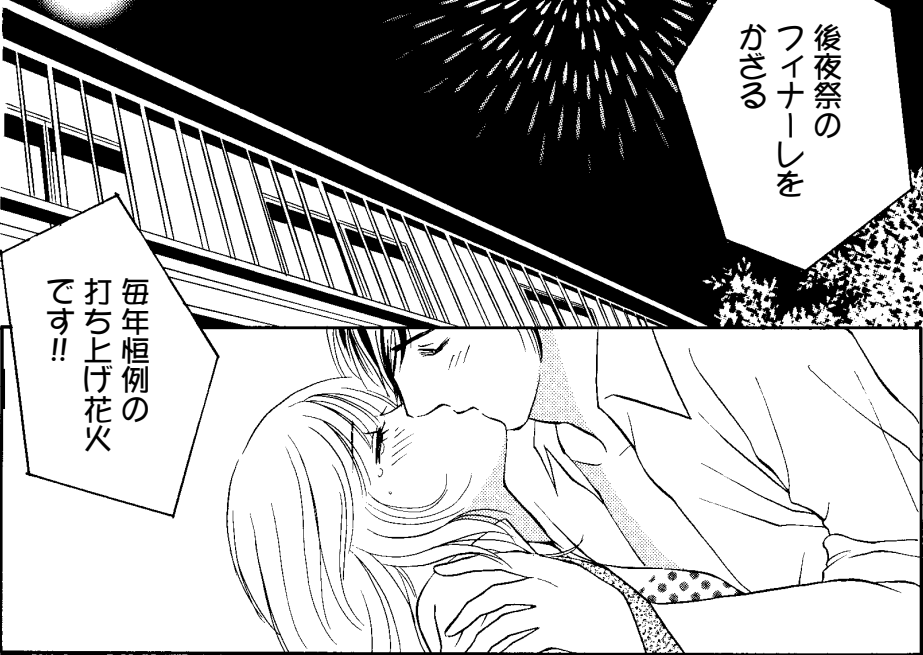


夢みたい…

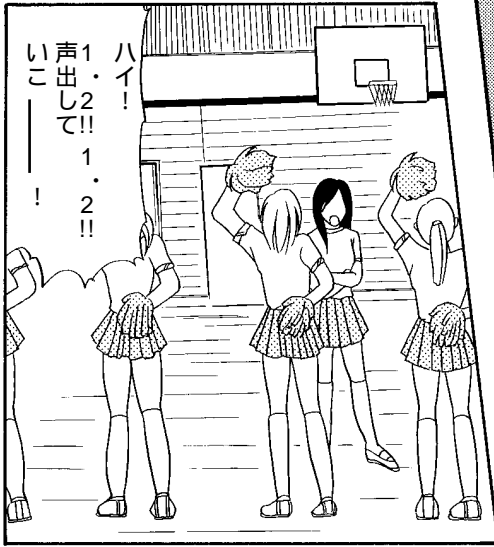


…いいよね?

後夜祭の
ファイナーしを
がさる



毎年恒例の
打ち上げ花火
です!!



ハイ！
1・2！！
1・2！！
声出して
いこー！



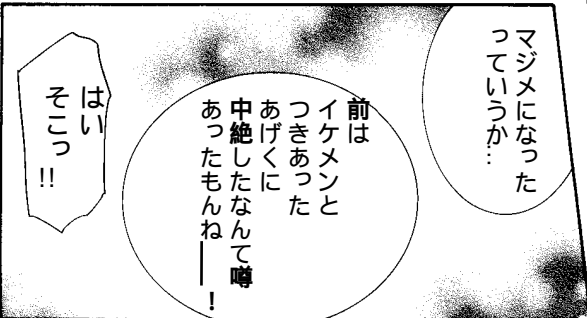
沙織先輩
推薦で大学
決まってるから
余裕だよな

それに！

秋葉先輩と
付き合ってるから
変わったよね！

私は一生
忘れない――

竜太先輩の
肩越しに見た
あの花火を――



マジメになっ
つていうか……

前は
イケメンと
つきあつた
あげくに
中絶したなんて噂
あつたもんね――！

はい
そこっ！！